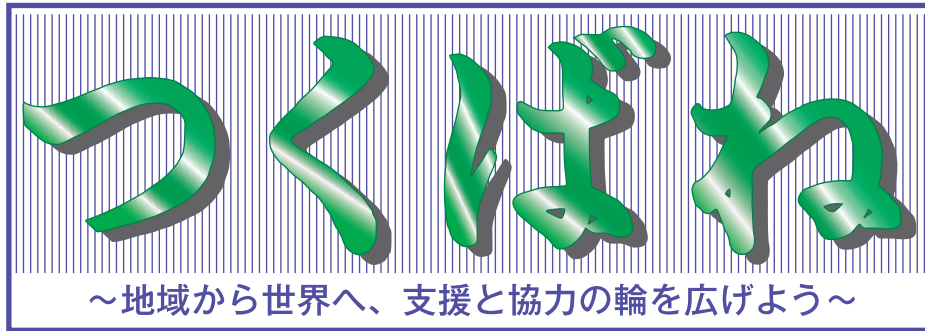




No.70

発行:令和5年11月22日
 茨城県青年海外協力隊を育てる会
 発行人:小川一成
 編集:広報文化委員会
 事務局:つくば市高野台3-6 〒305-0074
 JICA筑波センター内
 TEL 029(838)1111
 印刷:合資会社おおた

協力隊を育てる会の全国代表者・事務局長会議に参加

副会長 白井平八郎

東京・市ヶ谷のJICA市ヶ谷ビルで9月8日、協力隊を育てる会の全国代表者・事務局長会議が開かれました。コロナ禍のために全国の代表者などが一堂に会することにもまならず、4年ぶりの開催となりました。

コロナ禍は、青年海外協力隊の活動にも影を落とし、2020年には全世界から隊員が一時帰国。数年にわたって海外に出発する隊員もいなくなり、育てる会の会員も減少しました。

こうした状況の中で開かれた4年ぶりの会議では、各県の状況報告や今後の活動、青年海外協力隊を交えた意見交換などが行われました。

青年海外協力隊からは、現在の活動についての状況報告がありました。今年8月末現在では、72カ国に1166人の隊員を派遣。2022年の隊員募集には2536人、2023年春の募集には1411人が集まりました。訓練も2023年度から再開し、今年度は886人となる見通しを示しました。

来年度中には青年海外協力隊の派遣をコロナ禍以前の状況に戻したいと、年間2000人の派遣を目指し、毎年新規で1000人の派遣を行いたい意向を示すとともに、年間3500人の隊員応募者の確保を目指しています。

隊員を後押しする協力隊を育てる会に対しては、引き続き海外で活躍する若者たちを応援する一方で、OV(協力隊経験者)が派遣前に従事する企業で活躍し、起業や地域の活性化で頑張っているのを応援することが必要としました。OVを応援することで、青年海外協力隊に魅力



茨城県の状況を報告する白井副会長

を感じる人が増えるとともに、新しい事業や地域の活性化につながり、それが魅力となって育てる会の会員拡大にもつながるのではないかと意見をいただきました。

また、長野県駒ヶ根市の駒ヶ根協力隊を育てる会(池崎 保会長)が2023年度の外務大臣表彰を受賞したことが報告されました。同育てる会では、会が組織する実行委員会によって毎年4市町村による国際交流イベント「みなこいワールドフェスタ」を開催、イベント中に駒ヶ根市で「国際広場」を開いて世界各国の料理を出品、パレードを行うなど、活発な活動を行っています。

※写真は(社団)協力隊を育てる会から提供していただきました。



会場風景



会議に臨む白井副会長

本年7月の通常総会時に隊員経験談を講演していただいたOV会会長石森さんに講演内容のダイジェスト版を寄稿していただきました。

JICAボランティアの経験と社会貢献

OV会 会長 石森 和磨

私は平成27年から2年間、ブラジルのサンパウロ州スザノ市の小中学校に派遣をされていました。サンパウロから車で90分ほど行った、ちょっとした田舎町でした。そこで日本語を教えていたのですが、実際は私の方がたくさんの経験や学びを得ることになりました。

○なぜブラジル人はイキイキしているのか

私がブラジルで受けた最も大きなカルチャーショックは「みんなが楽しそう」というものでした。物質的には遥かに豊かであるはずの日本人より、明らかに楽しそうなブラジル人の姿に大変ショックを受けました。ブラジルではお金や物がなくても楽しめる文化があったのです。

例えば、日系社会には“motiyori”（持ち寄り）という文化があります。みんなで集まって何かやろうとなると、「じゃあモチヨリで」と、各々家で作った料理やケーキを持ってきて、それをみんなでシェアします。ほかに、街には手芸屋さんやパーティーグッズを扱うお店が多く、ブラジル人は何かと手作りをします。すぐに製品を買うことに意識が行ってしまっていた私には、とても

新鮮で、みんなと作る時間はとても豊かなものでした。

子供たちも、みんな「自分」を持っていました。好きなものを好きと言えるような雰囲気がありました。そこにどっぷりと浸かると、帰国後に待っていたのは、逆カルチャーショックでした。

○日本の子供への危機感

帰国して間もない頃出前授業である小学校を訪れた時、子供の反応がブラジルと全く違うのに驚きました。質問をしても、みんな模範解答のような答えしか返ってこないのです。日本の子供は、大人が喜びそうな答えを知っているのだと思いました。派遣前にはなかった違和感でした。

漠然とみんな同じ方向を見ようとしていないか。本当は一人一人違う人間のはずなのに、無意識的にあたかも同じ民族や国民としてあろうとしていないか。自分を殺して、ひたすら我慢していた、かつての自分が重くなりました。

○社会貢献としてのJICAの経験

これではいけないと思い会社を辞め、一人ひとりの個性を思いっきり伸ばせる場所を作ろうと思いました。

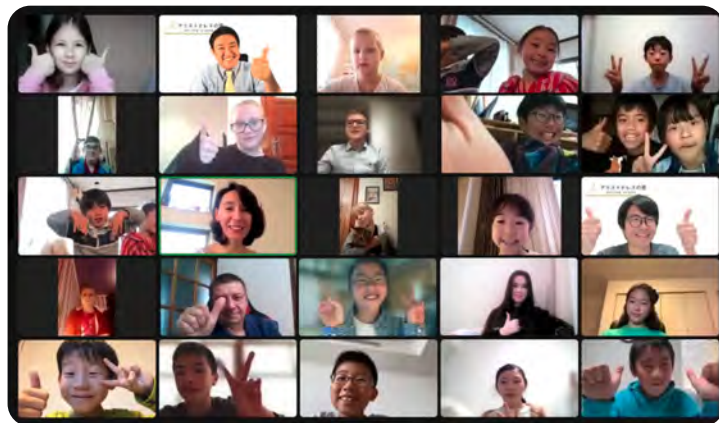
「アリストテレスの窓」はコロナ禍の休校措置下にできました。今や日本中、世界からも多くの生徒が参加してくれる教室になりました。また、声優や世界大会優勝者など、それぞれの夢を叶える生徒も増えてきました。日本の子供だってできると私は信じています。一人ひとりが輝く力を持ったら、きっと日本は盛り上がります。それはブラジルのみんなが教えてくれたことでした。私はこの経験をこれからもこの国の未来に役立てたいと考えています。



モチヨリでピクニック！



ブラジルのキラキラした子供たち



教室生徒によるウクライナ支援をしました！
最上段左から2人目が筆者

令和5年度2次隊 県知事表敬訪問・壮行会

事務局長 小松崎弘尤

令和5年10月6日(金)に2次隊7名(1名欠席)の県知事表敬訪問が行われました。

今回は横山副知事が対応され、隊員の任国での活動内容の質問があり、隊員はこれから活動する任国について説明、その後茨城県国際親善大使として委嘱状が代表の瀬戸隊員に手渡されました。また、県からの記念品を代表の高田隊員に授与され、副知事から元気で現地で活動してほしいと激励の言葉があり、記念写真撮影で表敬訪問は終了しました。



委嘱状を受ける瀬戸隊員



記念品を受ける高田隊員



任国の国旗を掲げ

【隊員紹介】

谷口 晋	エクアドル	品質管理・生産性向上
瀬戸 凌平	ウガンダ	コミュニティ開発
高田 優佳	ベトナム	コミュニティ開発
菊地 雄登	カンボジア	体育
久保田 畔菜	コロンビア	水産開発
伊藤 健二	パラオ	病虫害対策

壮行会は午後4時30分からJICA筑波センター講堂で行われました。

開会の前に育てる会から「小さなハートプロジェクト」について説明をさせていただきました

育てる会臼井副会長、JICA筑波センター所長睦好絵美子様から挨拶の後、隊員の自己紹介があり、その後隊員を囲んで出席者と情報交換などで和やかなひとときをすごしました。

今回久しぶりに留守家族の方が出席してくれ感謝しております。隊員の皆さんはこれから二年間体に気をつけて活動してください。

各隊員に「職種以外では是非こんなことをやってみたい」事をお聞きしたら5名の方から回答が寄せられました。

谷口隊員：任地クエンカ市とその周辺地域の日本人目線での観光マップを作る事です。

瀬戸隊員：建設関連の職業訓練校で、安全対策における啓発活動や任地におけるインフラ面の向上で地元の建設関連会社と安全対策の啓発活動をやりたい。

高田隊員：赴任先のムーカンチャイという場所はベトナムで最も美しい棚田がある場所ですが日本人にはまだまだ知られていないので、より多くの日本人に興味を持ってもらえるように魅力を発信していきたい。

菊池隊員：アンコールワットの遺跡群を巡ること、現地の市場や屋台を活用し健康的な食習慣を確立すること、現地のサッカーチームで現地の方々とプレーをすることです。

伊藤隊員：派遣前は2年間ほど沖縄に入りびたりだったので、ダイビングはもちろんやってみたいです。ツノダシの大群やイレズミフエダイの大群はぜひ見たいものです。それ以外に、ヨットを習いたいと思います。一緒に行く隊員はヨットを子供達に教えるので、わたしも習ってみたいです。



懇談する隊員



育てる会記念品の風呂敷



参加者全員で

これまで・これからの事業について

■ これまでの事業報告（令和5年8月～11月）

令和5年	8月5日(土)	第5回運営委員会	中止
	9月2日(土)	第6回運営委員会	JICA筑波センター
	9月8日(金)	全国育てる会 代表者・事務局長会議	東京
	10月6日(金)	2次隊7名 県知事表敬訪問・壮行会	県庁・JICA筑波センター
	10月7日(土)	第7回運営委員会	中止
	11月8日(水)	第2回理事会	JICA筑波センター
	11月11日(土)	第8回運営委員会	中止
	11月22日(水)	広報誌「つくばね」第70号発行	

■ これからの事業予定（令和5年12月～令和6年3月）

	12月2日(土)	第9回運営委員会	JICA筑波センター
	12月中旬	3次隊 県知事表敬訪問・壮行会	県庁・JICA筑波センター
令和6年	1月13日(土)	第10回運営委員会	JICA筑波センター
	2月3日(土)	第11回運営委員会	JICA筑波センター
	3月2日(土)	第12回運営委員会	JICA筑波センター
	3月中旬	4次隊 県知事表敬訪問・壮行会	県庁・JICA筑波センター
	3月下旬	広報紙「つくばね」第71号発行	

事務局からのお願い

令和5年度会費が未納の方へ

今年度も後期に入りました。会費未納の方は下記まで納入下さるようお願い申し上げます。

- 指 定 口 座 常陽銀行研究学園都市支店
- 普 通 預 金 店番 104 NO 1411153
- 口 座 名 茨城県青年海外協力隊を育てる会
会 長 小川 一成

事務局だより

会員状況（ ）は家族会員

区 分	令和5年6月末現在	令和5年10月末現在
個 人	64 (2)	65 (2)
団 体	18	18
計	82 (2)	83 (2)

編集後記

二次隊の壮行会で隊員にお話を伺うと応募のきっかけがインターネット検索だったり活動状況をSNSで発信したいという話がたくさん聞かれました。

今、隊員たちはインターネットを通して家族と常に連絡を取り合っているため留守家族の方々はずいぶん安心なことでしょう。

インターネット時代到来前の通信状況を思うと正に隔世の感です。

今号では前号で予告していたOV会長の石森さんに寄稿していただきました。

紙面の関係で非常に短い記事になってしまい申し訳なかったのですが、活動状況は概ね理解していただけるのではないのでしょうか。

今後機会がありましたら続編をお願いしたいと考えています。